

足助陣屋跡の復元検討

代表者 芸術工学研究科 教授 溝口正人、准教授 向口武志

連絡先 muka@sda.nagoya-cu.ac.jp

連携・協力者 豊田市役所

ポイント

歴史を活かしたまちづくりに
寄与します

1 概要

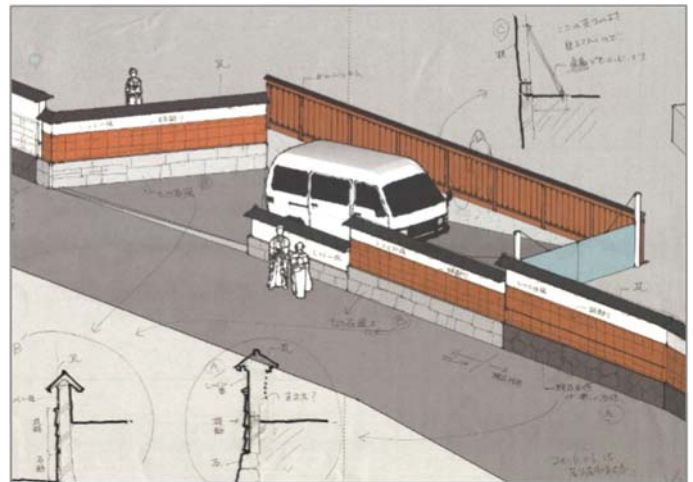
- 平成28年9月から、豊田市からの受託研究として、旧足助陣屋跡の復元とその修景計画を行っています。

2 活動内容

- 陣屋とは江戸時代において町を治める領主の居館です。明治以降も町の行政的な中心地でしたが、町村合併の進んだ現代では十分に活用できていないままとされてきました。
- 今後の整備方針を検討するためにも、まず本来あった陣屋の復元を学術的に行い、地域のまちづくりのために修景の基本方針を検討しています。
- 具体的には古文書や絵図、現地の痕跡、現存する他地域の陣屋から江戸時代における陣屋の実態を復元します。ただし、陣屋の屋敷を再建するものではありません。再生整備がすすむ足助の町並にあわせて、現代の状況とも刷り合った現実的な修景計画を模索します。

3 成果

- 文献史料の検証から幕末の足助にあった陣屋の様相は特定できつつあります。今後の発掘調査の結果とあわせてより精度の高い復元図が完成できる予定です。
- 一方、地域の再生に必要なのは、陣屋周囲に見合った修景方針です。スロープなど現代に求められる機能を満たしつつ、文化財的価値を損なわない修景計画案をまとめています。



検討のため作成されたイラスト